

協働事例

		担当課名	生活環境課
協働の形態	共催		
事業名	平成22年度花巻市市民総参加早朝一斉清掃		
協働の相手	花巻市公衆衛生組合連合会		
事業実施時期	平成22年4月～9月		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・目的：市民一人ひとりが一体となって快適で住み良い生活環境を保全するため、地域ぐるみの清掃活動を通じて、きれいな街づくりと環境に対する意識の高揚を図る ・実施日：4月11日（市全域）、6月20日（旧花巻地域、石鳥谷地域）、9月26日（市全域） 午前6時～ 計3回 ・実施場所：各地区内の道路、河川、公共の場所を選定し実施 ・実施方法：収集したごみは分別する収集日に集積所に出すとともに、可能な限りリサイクルする（収集日までに保管が困難な場合は市が回収） <ul style="list-style-type: none"> ：清掃時のケガに対応するため、市が賠償保障保険に加入 ：道路の側溝汚泥清掃や河川清掃は地区の実情により実施 		
協働に至る経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・H19、公衆衛生組合連合会合併により市と共催で市内全域でスタート。以前はそれぞれの市町ごとに実施。花巻3回、石鳥谷2回、東和1回、大迫2回 ・H21より春（4月）と秋（9月）の2回一斉実施。また、6月に環境月間クリーン岩手行動の日に合わせて任意に実施（ただし、石鳥谷と花巻のみ） 		
役割分担	行政	広報はなまき等による周知、全国市長会市民総合賠償保障保険への加入、ごみ等の回収	
	市民団体等	清掃場所の選定、清掃方法の決定、周知(公衛連) 清掃及び清掃後のゴミ分別（参加市民）	
事業の成果	<p>H21実績</p> <p>4月12日：回収したごみの量 52,912kg 参加人数 19,262人</p> <p>6月21日： // 11,373kg // 9,435人</p> <p>9月27日： // 21,518kg // 16,860人</p> <p>地域ぐるみの清掃活動により、生活環境の保全と環境に対する意識の高揚が図られた。</p>		
協働の成果 （市が単独で行うより効果があった点）	<ul style="list-style-type: none"> ・市内全域を清掃でき、市のみで実施することに比べ大幅なコストの削減につながる。 ・地域住民が清掃を実施することで、行政のみでは目が届きにくいところも清掃することができる。 ・市民の環境に対する意識を高めることができるとともに、不法投棄の抑制や環境保全につながる。 ・地域住民が自らの地域に問題意識を持って一緒に行うことで、地域の一体感の醸成につながる。 		

協働事例

		担当課名	生活環境課
協働の形態	事業協力（行政）		
事業名	橋守事業		
協働の相手	市民個人（ボランティア）		
事業実施時期	平成22年4月～7月		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・目的：安全で円滑な交通の確保、沿道や第三者への被害の防止を図るため橋梁に係る維持管理を効率的に行うために破損の状況の把握、点検結果の記録を行い、必要な情報を得る ・実施場所：市道の橋梁（橋長2m以上15m未満）840橋 ・実施方法：①橋守（点検ボランティア）を募集・登録 <ul style="list-style-type: none"> ②橋守点検講習の実施 ③橋守による点検実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアを2人1組、実施期間中の都合のよい日 ・一定の地域の橋を各班に割り当て ・ボランティア構成：花巻7名、東和2名、石鳥谷1名 計10名 		
協働に至る経緯	<p>市職員のみで実施したH18の橋梁点検は対応可能職員約10名で98橋を点検し、職員1名当たりでは年間約8～10日の拘束となっていた。また、国土交通省及び県では5年に1回の頻度で点検を実施。花巻市がこの頻度で行うためには年間210橋の実施が不可欠となる。花巻市の橋梁は1050と非常に多く、全ての橋梁に対して適切な時期に点検を行うことが困難な状態であるため、職員と市民の協働により、適切な橋梁の維持管理を目指し、橋守事業を創設した。</p>		
役割分担	行政	募集・登録、橋守講習会の開催、対象橋梁のデータ等の提供、ボランティア保険手続き及び費用負担	
	市民団体等	点検・報告	
事業の成果	<p>H21 花巻地域168橋を実施（橋長の長い順） H22 174橋を実施（一定の地域を集中的に実施） H21、22ともに年間の予定どおり実施することができたとともに行政コストの低減が図られた。</p>		
協働の成果 （市が単独で行うより効果があった点）	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ボランティアと協働することで、一定の適切なサイクルで市内の橋梁を点検することが可能となり、適切な橋梁の維持管理ができる。 ・ボランティアの募集等で市民の目に触れることや市民ボランティアとして関わることで、橋梁保全に対する市民意識の高揚が図られる。 ・市民のボランティアにより実施することで、行政コストの低減につながる。 		

協働事例

		担当課名	長寿福祉課
協働の形態	委託		
事業名	湯のまちホット交流サービス事業		
協働の相手	温泉施設経営者		
事業実施時期	平成22年4月～平成23年3月		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・目的：高齢者の心身の健康増進及び多くの方々との交流の輪を広げること ・利用対象者：65歳以上の市民で構成する5人以上の団体 (温泉施設によっては10人以上の場合あり) ・サービス内容：①温泉への入浴(無料)②客室又は広間での休憩(無料) ・利用できる施設：市と契約した市内温泉事業所(15箇所) ・実施期間：①原則、土曜日、日曜日、祝日を除く平日 ②午前10時～午後3時 ・その他：昼食や送迎については、予約時に温泉事業者を確認 		
協働に至る経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・市設置の老人福祉センターで温泉入浴サービスを実施してきたが、老朽化の進行や耐震性能の不足のため、今後の対応を検討してきた。また、介護予防事業として実施していた湯の華ディサービス事業の実施区域が花巻地域に限定されていたため、利用者に偏りがあることが課題となっており、それらの課題を解消するための事業を構築するにあたり、市内に多く存在する温泉事業者と協働することとしたもの 		
役割分担	行政	事業のPR、温泉事業者登録等事務、委託料の支払い	
	市民団体等	入浴サービス、休憩施設利用サービスの提供	
事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の方々に温泉入浴をとおして健康づくりや交流の輪を広げていただいている。 平成22年4月から実施中(9月末現在) <ul style="list-style-type: none"> ・利用者累計6,336人(月平均422人) ・事業費累計3,820千円(月平均255千円) 		
協働の成果 (市が単独で行うより効果があった点)	<ul style="list-style-type: none"> ・民間の温泉施設を活用することで、地域経済の活性化につながるひとつの手立てとなっている。 ・市内各所の様々な温泉を活用できることが、利便性の向上につながり、利用する市民から好評である。 ・民間の施設を活用することで、市で設置するよりも経費がかからず、市民へのサービスの向上している。 		